

情報連絡員だより

ー平成 27 年 11 月分の報告よりー

低迷が続く中、企業間格差や
人手不足が散見

業 種 / 景 況 天 気 図			概 況
全 体			国内外の景気減速懸念は引き続きくすぶっており、企業間格差の広がりも気になるところ。一部業種の人手不足は続いており、対応に苦慮している状況は変わらず。また、マイナンバー制度への対応にも四苦八苦。
 製 造 業	食 料 品		パンは客単価上がらず、インバウンド消費の期待もできない。製麺は生・乾麺とも企業間格差が散見される中、一部荷動きに改善が見られる。酒造は純米酒・純米吟醸酒が好調、普通酒が大幅に減少している。
	繊維・同製品		桐生織物は輸出向けの引き合いは多少あるが成約には至っておらず、和装織物は非常に厳しい状況。伊勢崎織物はイベント出展での認知度アップに期待。繊維製品は婦人・紳士服ともに売上不振。
	窯業・土石製品		生コンは大型案件がなく大幅に売上減少。コンクリートブロックは職人不足で着工できない現場が散見。コンクリート製品は公共・民間工事ともに受注が低迷し厳しい状況。砕石は販売価格上昇も売上減少が続く。
	機 械 ・ 金 属		引き続き中国や新興国の経済動向を不安視。太田機械金属は富士重工関連の下請け企業においては人手不足感が強く、人材派遣等社外労働力に頼らざるを得ない状況。鍍金は売上高が前年比 1 割程度減少。
	その他の製造業		紙加工品の販売価格は下落しているが、古紙の相場は落ち着き、原材料の値上げの動きはない。印刷は稼働率が上昇し受注も好転傾向だが企業間格差の広がりが見られる。ゴムは例年並みに推移。
 非 製 造 業	卸 売 業		高崎卸団地は消費税率の軽減税率導入を懸念。太田卸団地は建築材料卸売業が伸び悩み状態であり、売上・収益状況ともにやや悪化傾向。農産物卸は暖かい日が続き、葉物を中心に価格が暴落。
	小 売 業		生花小売の市場単価は過去 5 年間で最も低く推移。燃料小売はガソリン価格が前年比 30 円/ℓ 安が続く。商店街は比較的暖かい日が続いたため、冬物季節商品の動きが低調、冬物値引きセールを早める動きが見られる。
	サ ー ビ ス 業		温泉旅館は外国人観光客が増加傾向である一方、団体客の減少が見られる。不動産取引は富士重工関連による良好な雇用環境や行政の子育て支援策等により太田市への転入が増え、取引は堅調に推移。
	建 設 業		建築工事は従業員や下請け業者の確保に苦慮。電気工事の受注は増加しているが、人手不足が継続しており工期の厳守に苦労している。塗装工事は職人単価の落ち着きや突貫工事の減少により収益は安定している。
	運 輸 業		野菜は豊作で輸送量が増加。原油価格は下落しているが、元売各社の意向により軽油価格は前月比値上がり傾向。小口輸送は什器・医薬品等の輸送が増え、売上・件数ともに増加。